

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場会社名 RKB毎日放送株式会社

上場取引所 福

コード番号 9407 URL <http://rkb.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 良次

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 松浦 泰久

TEL 092-852-6624

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	17,632	△0.4	981	△13.7	1,092	△11.1	722	△1.6
26年3月期第3四半期	17,700	1.1	1,137	△5.6	1,228	△2.7	733	1.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,170百万円 (50.8%) 26年3月期第3四半期 776百万円 (48.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	65.87	—
26年3月期第3四半期	66.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	40,434	28,183	68.3
26年3月期	40,592	27,802	67.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 27,628百万円 26年3月期 27,180百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	15.00	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,970	△1.1	1,350	△23.5	1,460	△23.0	970	△12.0	88.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	11,200,000 株	26年3月期	11,200,000 株
27年3月期3Q	233,718 株	26年3月期	232,558 株
27年3月期3Q	10,967,038 株	26年3月期3Q	10,968,338 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成27年3月期の個別業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,330	0.5	1,320	△17.3	1,440	△16.3	950	△9.1	86.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 参考情報	10
(1) 当四半期の個別業績	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策の効果等による株価の上昇、設備投資の増加や雇用環境の改善など緩やかな景気回復基調で推移しましたが、円安の進行による原材料価格の高騰や消費税増税の影響などにより、個人消費に弱さが見られ、先行き不透明な状況です。

このような状況の中、主たる事業の放送事業収入は前年を上回りましたが、システム関連事業は受注が低調で、収入は前年を下回りました。一方、費用面では番組費等が増加しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は176億32百万円(前年同期比 0.4%減)で減収となり、営業利益は9億81百万円(前年同期比 13.7%減)、経常利益は10億92百万円(前年同期比 11.1%減)、四半期純利益は7億22百万円(前年同期比 1.6%減)でそれぞれ減益となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### ①放送事業

放送事業は、収入122億21百万円(前年同期比 1.3%増)、営業利益6億58百万円(前年同期比 4.9%減)となりました。

テレビ部門は、収入104億75百万円(前年同期比 0.4%減)となりました。タイム収入は1.9%増となりましたが、スポット収入は1.9%減となりました。業種別では、通信・放送、薬品、精密事務機器などが伸びたものの、住宅・建材、保険、卸売・小売、輸送機器などが落ち込みました。

ラジオ部門は、収入17億45百万円(前年同期比 13.5%増)となりました。タイム収入は12.1%増、スポット収入も14.2%増となりました。

#### ②システム関連事業

システム関連事業は、収入28億24百万円(前年同期比 9.9%減)、営業損失2億2百万円(前年同期は営業損失52百万円)となりました。

収入については機器販売が不調で減収となりました。依然価格競争が厳しく、受注条件対策や収支管理を徹底して行いましたが、収入の減をカバーできず、利益面でも前年同期より悪化しました。

#### ③不動産事業

不動産事業は、収入7億69百万円(前年同期比 0.8%減)、営業利益5億24百万円(前年同期比 1.0%減)となりました。

テナント収入の減少により、減収減益となりました。

#### ④その他事業

その他事業は、収入18億17百万円(前年同期比 5.1%増)、営業利益0百万円(前年同期は営業損失27百万円)となりました。

催事部門では、北九州芸術劇場での蜷川幸雄演出「海辺のカフカ」や約32万人の入場者を集めたJR九州ホールでの「アートアクアリウム展～博多・金魚の祭～」などを開催し、増収となりました。また、利益も大幅に改善しました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億57百万円減少し、404億34百万円となりました。これは主に、投資有価証券が6億94百万円、現金及び預金が5億79百万円増加したものの、回収等により受取手形及び売掛金が12億88百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ5億38百万円減少し、122億50百万円となりました。これは主に、未払費用が5億30百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億81百万円増加し、281億83百万円となりました。これは主に、株価の上昇により、その他有価証券評価差額金が4億21百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績の見通しにつきましては、主力であるテレビスポット収入が第2四半期決算発表時を下回る見込みです。また、システム関連事業も減収減益を見込んでいるため、平成26年11月11日に公表いたしました業績予想を修正しております。この結果、通期については、売上高249億70百万円、営業利益13億50百万円、経常利益14億60百万円、当期純利益9億70百万円を見込んでおります。

## (参考)

・平成26年11月11日発表の業績予想（通期）

連結：売上高251億90百万円、営業利益16億40百万円、経常利益17億20百万円、当期純利益10億60百万円

個別：売上高191億80百万円、営業利益14億80百万円、経常利益15億90百万円、当期純利益10億10百万円

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が9億58百万円増加し、利益剰余金が5億89百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,920	5,500
受取手形及び売掛金	4,179	2,890
有価証券	130	110
たな卸資産	78	485
その他	2,913	2,906
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	12,219	11,890
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,446	7,319
機械装置及び運搬具(純額)	1,010	832
土地	13,319	13,319
その他(純額)	873	854
有形固定資産合計	22,650	22,326
無形固定資産		
投資その他の資産	432	317
投資有価証券	4,059	4,754
その他	1,236	1,151
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	5,290	5,900
固定資産合計	28,372	28,544
資産合計	40,592	40,434
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	402	168
短期借入金	561	440
未払法人税等	450	142
アナログ設備撤去引当金	10	6
その他	3,437	2,950
流動負債合計	4,862	3,708
固定負債		
長期借入金	480	360
退職給付に係る負債	5,434	6,233
負ののれん	7	-
その他	2,006	1,948
固定負債合計	7,927	8,542
負債合計	12,789	12,250

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	26,472	26,440
自己株式	△177	△178
株主資本合計	26,859	26,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	539	960
退職給付に係る調整累計額	△218	△158
その他の包括利益累計額合計	320	802
少数株主持分	622	555
純資産合計	27,802	28,183
負債純資産合計	40,592	40,434



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	17,700	17,632
売上原価	10,861	10,839
売上総利益	6,839	6,792
販売費及び一般管理費	5,702	5,811
営業利益	1,137	981
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	73	81
その他	43	37
営業外収益合計	119	122
営業外費用		
支払利息	22	10
その他	6	1
営業外費用合計	28	12
経常利益	1,228	1,092
特別利益		
国庫補助金	0	0
アナログ設備撤去引当金戻入益	5	-
その他	0	-
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	6
その他	4	0
特別損失合計	4	6
税金等調整前四半期純利益	1,229	1,086
法人税等	501	398
少数株主損益調整前四半期純利益	728	688
少数株主損失(△)	△5	△33
四半期純利益	733	722

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	728	688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	421
退職給付に係る調整額	-	60
その他の包括利益合計	48	481
四半期包括利益	776	1,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	782	1,203
少数株主に係る四半期包括利益	△5	△33

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,060	3,135	775	1,728	17,700	—	17,700
セグメント間の内部売上高 又は振替高	152	47	218	446	865	△865	—
計	12,213	3,182	994	2,174	18,565	△865	17,700
セグメント利益又は損失(△)	692	△52	529	△27	1,141	△4	1,137

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,141
セグメント間取引消去	△4
四半期連結損益計算書の営業利益	1,137

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,221	2,824	769	1,817	17,632	—	17,632
セグメント間の内部売上高 又は振替高	140	37	215	437	831	△831	—
計	12,362	2,862	985	2,254	18,464	△831	17,632
セグメント利益又は損失(△)	658	△202	524	0	981	0	981

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	981
セグメント間取引消去	0
四半期連結損益計算書の営業利益	981

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

## 4. 参考情報

## (1) 平成27年3月期第3四半期の個別業績

(百万円未満切捨て)

## 【個別経営成績(累計)】

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	14,225	1.5	1,121	△1.2	1,241	0.9	793	7.3
26年3月期第3四半期	14,019	0.1	1,134	△12.3	1,231	△8.1	739	△5.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	72 33	—
26年3月期第3四半期	67 42	—

## 【個別財政状態】

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	34,446	25,840	75.0
26年3月期	34,081	25,311	74.3

## 【個別売上明細】

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	10,626	75.8	10,572	74.3	△53	△0.5
ラジオ収入	1,587	11.3	1,789	12.6	202	12.7
不動産事業収入	723	5.2	720	5.1	△2	△0.3
その他事業収入	1,082	7.7	1,142	8.0	59	5.5
合計	14,019	100.0	14,225	100.0	206	1.5

(注) この四半期財務諸表(個別)は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものです。